

資料1-4

文学部学生意識調査

1年次生学期始め調査

◆以下の項目について、それぞれの説明をよく読み、今(高校)までの振り返りながら、今の自身のレベルに最も近いと思うものを選びましょう。

①学びの計画性	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
大学での学習は量・質ともに高校時代に比べて倍増します。そして大学生活は、高校の時より様々に忙しくなります。そこで、計画的に勉強する習慣を身につけることはとても重要です	十分、身につけていると思います。			たぶん大丈夫だと思います。				あまり自信がありません。		まったく身につけていない気がします。	
大学生としての自覚	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
高校までは「生徒」と呼ばれますが、大学では「学生」です。学生は自分の学びに責任を持たねばなりません。授業で学んだことを使って自分で考え、自分の言葉でそれを伝え、伝えたことやその結果に責任を持つことが期待されます。	創価大学の「学生」になる、という自覚を持って入学してきました。			呼び名が「生徒」から「学生」に変わることは知っていましたが、その意味の違いについて、少し考えたこともあります。			呼び名が「生徒」から「学生」に変わることは知っていましたが、その意味の違いについて考えたことはありません。			呼び名が「生徒」から「学生」に変わることも知りませんでしたし、その意味の違いも考えたことはありません。	
②学習者としての自覚	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
大学の授業で出される課題は、担当する教員の様々な考えが反映されます。出題の意図や評価の基準をしっかりと理解することが大切です。自分勝手な思い込みで判断・行動しても良い結果はでないでしょう。丁寧に課題に取り組む姿勢が大切です。	今までも、課題の意図や指示を確かめながら学んできました。大学生になっても更に丁寧に課題に取り組めます。			課題は丁寧に取り組んで来たと思いますが、少し不安です。よりいっそう気をつけて取り組みたいと思います。			課題は先生の言われた通りにやってきたつもりですが、自分で確かめたことはありません。丁寧に取り組めるかどうか心配です。			今まで、課題の意図を考えて取り組んだことは、ありませんでした。これからも、あまり考えないと思います。	自分のことですが、よく分かりません。 あるいは、判断がつきません。
③新しい仲間作り	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
大学生活を充実させ、勉強面でも互いに刺激し合える友人を持つことは大切です。そのためには、自ら進んで周囲に働きかけ、新しい友人をつくることも必要でしょう。	今までも、友人はたくさんいました。中には勉強面で励まし合える友達もいます。これからもそうした友人を作っていきます。			今まで友人はいましたが、勉強面で励まし合える友人を特に意識したことはありません。これから作っていききたいと思います。			今まで友達が多い方ではありませんでした。これからは、勉強面で励まし合える友人を作っていききたいと思います。			今まで友達が多い方ではありませんでした。これからも、あまり友達を作っていく自信がありません。	
④文学部で学ぶ意義	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
自分の人生設計の上で創価大学文学部での学修を位置づけ、学生生活の原動力にできる。	私は卒業後の計画も具体的に設計ができていて、その実現のために文学部で学ぶという自覚があります。			具体的ではありませんが将来の夢として持っているものがあります。その夢の実現のためには文学部での学修が役に立つと感じています。			卒業後の計画はまだ出来ませんが、文学部の学修は社会人として必要なものと考えています。			特に文学部での学修に具体的に求めるものはありません。興味を持って臨むように努力しています。	

※ 調査においては、学期始め調査の①～④の項目を学期終わり調査の①～④の項目とそれぞれ対応させて比較することとした。

1 年次生学期終わり調査

◆以下の項目について、それぞれの説明をよく読み、自身の取り組みや活動を思い出しながらこの授業での自分を振り返り、自身のレベルに最も近いと思うものを選びましょう。

①学びの計画性	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0		
大学生生活は、学期を重ねるごとに高校の時より様々に忙しくなります。そこで、計画的に勉強する習慣を身につけることはとても重要です。今のうちから予習をする習慣をしっかり身につけたいものです。	シラバスにある到達目標を参考に、自分なりの目標を立てて取り組みました。授業には予習して臨み、学習計画にそって課題に効率よく取り組みました。ほぼ計画通りに進み、十分な達成感があります。			シラバスを事前に確認し、授業のイメージをもって臨むように心がけましたが、いつも計画どおりに予習・復習に取り組みしたわけではありません。それでも授業の到達目標もほぼ達成できたと思います。			シラバスの事前確認はあまりしませんでした。また、あまり計画性をもって予習・復習に取り組みしたわけでもありません。期日には間に合いましたが、もう少しきちんとやれば良かったという残念感があります。			きちんと計画を立てて授業に臨むことはできませんでした。そのため、宿題や課題は期日が迫ってから始めることが多く、期日に遅れてしまうこともありました。あまり達成感を持つことはできません。		
②学習者としての自覚	9	8	7	6	5	4	3	2	1	自分のことですが、よく分かりません。 あるいは、判断がつきません。		
授業で出される課題は、出題の意図や評価の基準をしっかりと理解することが大切です。自分勝手な思い込みで判断・行動しても良い結果はでないでしょう。丁寧に課題に取り組む姿勢が大切です。	課題に取り組む際は、出題者の意図に合っているかどうか意識し、必要があれば確認しました。また、レポートは提出前にならず推敲し、返却物は見直すように心がけました。授業での配布物や返却物はファイルにきちんと保管しました。			出題者の意図を考えて課題には取り組んだつもりです。レポートは提出前には何度か読み直し、返却物も見直すように心がけました。授業での配布物や返却物はファイルにきちんと保管しました。			出題者の意図を考えて課題に取り組むことは、ほとんどありませんでした。レポートなどは提出前に読み直すこともありませんでしたが、返却物はそのまま保管しただけです。				出題者の意図を考えたことはありませんでした。レポートは見直しせず、できあがり次第すぐに提出しました。配布物や返却物を保管するのを忘れることもありました。	
人間関係力1	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
大学生生活を充実させ、勉強面でも互いに学び合える友人を持つことは大切です。そのためには、仲間の良いところを認め、励ましていくことも必要でしょう。	仲間の良いところやグループへの貢献に気づき、誰に対しても素直に賞賛できました。また、困っている様子にも直ぐに気づき、励ましの言葉をかけることもできたと思います。			周囲への気遣いはできていたと思います。仲間の良いところやグループへの貢献に気づくことは多かったと思います。ただ、仲の良い人や特定の人だけに言葉をかけていることもあった気がします。			仲間の良いところやグループへの貢献に気づかないことが多かったかもしれません。気づいても、なかなか自分から賞賛や激励の言葉をかけることができずにいたこともありました。				私は、仲間の貢献や良いところにあまり気づきませんでした。むしろ、自分の存在や貢献を認めてほしいと思うことが多かったかもしれません。	
③人間関係力2	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
大学生生活を充実させ、勉強面でも互いに刺激し合える友人を持つことは大切です。そのためには、自ら進んで周囲に働きかけることも必要でしょう。	私は、積極的に周囲と協調し、グループの課題に取り組みました。様々なグループ活動から有意義に学ぶことができ、新しい人たちと協働するのは楽しいと感じています。			私は、自分から周囲に話しかけ、グループ活動では他のメンバーと一緒に、課題達成に向けて協力し合えたと思います。ただ課題と関係ないおしゃべりもあつたなど、少し反省しています。			必要に応じて自分から周囲に話しかけることはできていたと思います。ただ、グループ活動などの際、特定の人とだけ話したりして、他の仲間とは十分に協力し合うことができないこともありました。			私は、必要と分かってもなかなか自分から周囲に働きかけることができませんでした。周りの人が話しかけてくれるのを待っていることが多かったと思います。		
④文学部で学ぶ意義	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
自分の人生設計の上で創価大学文学部での学修を位置づけ、学生生活の原動力にできる。	私は、卒業後の計画もぐていに設計ができていて、その実現のために文学部で学ぶという自覚があります。			具体的ではありませんが将来の夢として持っているものがあります。その実現のためには文学部での学修が役に立つと感じています。			卒業後の計画はまだ出来ていませんが、文学部での学修は社会人として必要なものと考えています。			特に文学部での学修に具体的に求めるものはありません。興味を持って臨むように努力しています。		